

研究課題名：	腸管切除が必要となる絞扼性腸閉塞の予測因子
研究機関名 所属（診療科等）：	研究事務局 さいたま赤十字病院 副部長 佐々木 滋 総合研究代表者 さいたま赤十字病院 副部長 佐々木 滋
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 副部長 佐々木 滋
研究期間：	2015年 1月 1日 ～ 2017年 12月 31日
研究の目的と意義：	絞扼性腸閉塞は代表的な腹部救急疾患であり、時として腸切除を必要とする場合がある。腸切除が必要となる病態を術前に予測する因子の報告も散見されるが、コンセンサスは得られていない。そこで今後の絞扼性腸閉塞に対する治療の一助となるよう当院の現状を後ろ向き観察研究で解析・検討する。
研究内容：	上記期間中に絞扼性腸閉塞の診断で緊急手術を施行した 55 人の患者を対象とする。 研究対象者基本情報として年齢、性別、共存症、既往歴、治療内容、病理学的結果、受診日、転帰、PS(performance status)、入院中に診療情報として得た生理的情報、血液学的検査情報、画像情報を利用する。 対象患者様より取得した上記診療情報を用いる、介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 外科 氏名：佐々木 滋 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111